

8月5日(木曜日)

ドル/円

米雇用統計に向けたポジション整理へ

4日(水)の主な推移

チャート: 30分足 4日(水)朝6時 ~ 5日(木)朝6時

ダウ平均株価

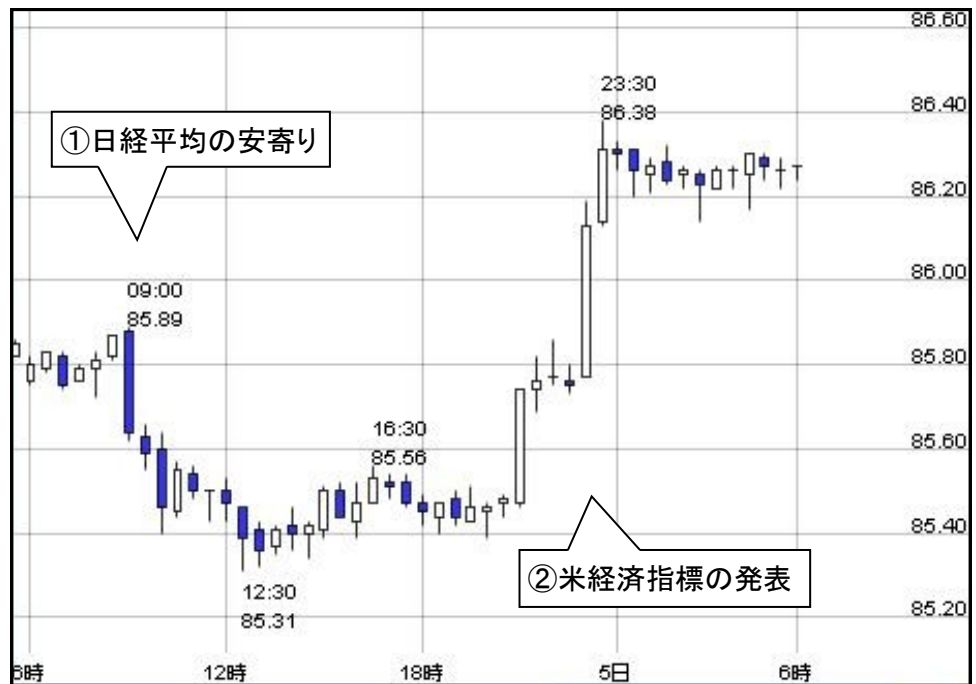
10680.43ドル
(+44.05ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.9570%
(+0.0467%)

NY原油先物

82.47ドル
(-0.08ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所: 外為どっとコム

① 前日の米国で追加の金融緩和観測が台頭しドル売りの展開となった流れを継続した上、日経平均株価が軟調に寄り付くと、ドル/円ではドル安・円高が進行。前日に一時85.31円まで下げ、年初来安値を更新した。

② 21時15分に発表された米7月ADP全国雇用者数が4万2000人増(事前予想: 3万人増)、23時に発表された7月ISM非製造業況指数が54.3(同: 53.0)と、双方ともに市場予想を上回ったことで、ドル買いが加速。ドル/円は86.38円まで上昇した。

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 85.50- 86.80円

3日から4日にかけて急激に円高が進んだドル/円だったが、4日のNYで大幅にドルが買い戻され、86円台前半まで値を戻したことで、一旦相場が落ち着いたように見受けられる。米2年債利回りも、3日の大幅に低下する前の水準まで戻している。

本日は英国とユーロ圏で政策金利発表が予定されているが、特に金融政策は変更されない公算で、大きな手掛かり材料にはならないと見られている。手掛かり材料視されそうな経済イベントは、米国で発表される新規失業保険申請件数くらいだろう。ただ、これに関しても、明日5日発表の米雇用統計に備え、金融市場は結果を確認してポジション整理をする程度の動きになる見通しだ。ドル/円は主要国の株価や引き続き米2年債利回りなどの動向を確認しながら、比較的ゆっくりとした展開になるとみる。(ジェルベズ)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
8/5(木)	20:00		(英) BOE政策金利発表	0.50%	0.50%
	20:45		(ユーロ圏) 欧州中銀政策金利発表	1.00%	1.00%
	21:30	○	(米) 8/1までの週の新規失業保険申請件数	45.7万件	45.5万件

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com